



七福神って
どんな神様？



附属高松小学校3年緑組
白井愛梨

はじめに

わたしは小さい時から家族旅行で「お寺や神社によく行っていて、「七福神」がなっているのを見かけて、ずっとなんか気になっていた。絵本にも七福神がでてきたり、お正月にももらったあめにも七福神の絵がなついていて、七福神はどんな神様なのか調べてみようと思った。

調べていたら、「七福神めぐり」というのを知り、「七福神めぐり」も調べてみることにした。



松山市の子規堂のある正宗寺にて

2021年8月

目次

1. 七福神とは
2. 七福神の神様はなぜ神社にもお寺にもいるの？
3. 「七福神めぐり」とは
4. 「七福神めぐり」のれきし
5. わたしの行った「七福神めぐり」
6. まとめ、感想

参考にした本など

1. 七福神とは

- ・ 古くから日本で親しまれている7位の神様の総称。
福祿寿、大黒天、恵比寿、弁財天、恵比寿、
寿老神、布袋尊。神様それぞれがチガッゴ利益を
持っていて、人々に福をもたらしてくれると信仰されている。
- ・ 「七福神」は、神道、仏教、道教などのさまざまな信仰が結
ついた。
- ・ お経の言葉「七葉即滅 七福即生」(七葉がなくなれば、
七福が生じる。)に由来する。

- ・ お話では室町〜江戸時代はじめくらいに書かれた『梅津長者
牛物語』(京都の語)に七福神がでてくる。日本昔話では、『正月の神
さん』『大年の客』『かわやの神様』などにでてくる。

びんぼうでも心やさしくて、こま、てい人(ひと)に食べ物をわけてあげたりしたところ、びんぼう神を追い出して、七福神がやってくるお話が多い。

『かわやの神様』は、七福神の神様が家の中でそれぞれ守るところを決めておくれしてきた弁財天がトイレを守ることになったお話。



(田木神社)



(智禅寺)

★十二支の守護神 ★ご真言

<七福神の神様>

恵比寿

七福神の中では一人だけ日本出身の神様。
左手に鯛を持ち、右手でつりざおを持っている。
いつも「えびす貞」を口にこき笑っている。
えびす様のルーツには、2つの説があり、イザナギと
イザナミが日本国土を創る時に、最初に生み出され
た子として出でくる蛭子命と、大国主の子でも尊代主
神。 おまじりをする時は、正面で手をあわせておがみ、うらに回って
羽目板やトラをたたく。



ご利益: 商売はじまり、大漁豊作、航海安全。漁業や海で
働く人、舟台に乗る人たちの守り神。

なむ えびすたいびん

うま. 羊年

大黒天

元々の名はインドのヌハーカーラというヒンドー
教の神。その神様と日本の大国主命が習合
した神様。頭きんをかぶり、白い大きな袋を
せおい、右手に打ち出の小づちを持って、米だわら
の上にのっている。なさけ深く、いなかのし
りさぎを助けた神話が有名。おつかいの動物はねずみ。



ご利益: 五穀豊穰、子孫繁栄、家運。農業をする人たちの守り神

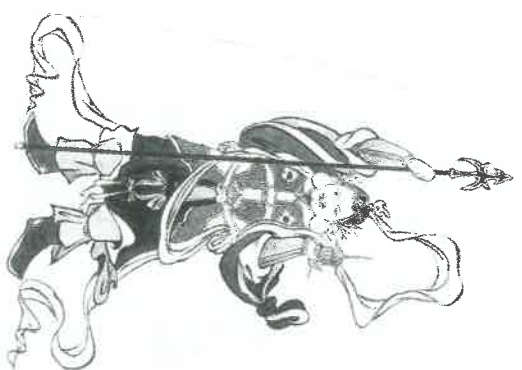
ねずみ. 丑年 おん まかぎやろや そわか

ご真言とは

古代インドのサンスクリット語で、それぞれの神様の名前をとえる。
神社やお寺などには、あたりぬる。3回ヤク回で唱える。
(えびすだいは日本の神なので日本語)

毘沙門天

もともとはインドの神話の財宝の神。
かぶととよろいを着て、武將の姿をしている。
やいと宝塔を持、ている。四天王の一人、
多聞天と同じ神様で、北方を守、ている。
おつかいの動物はおかひで、



ご利益: 財運、勝負運

寅年

弁財天

インドから来た神様。七福神の中でゆいづる
だけ女神。天女のような羽衣をまとい、いつも
びわをひいている。川のほとりや、海辺に
まつられ、水の神様ともいわれる。



ご利益: 諸芸上達 (音楽や学問)、金運

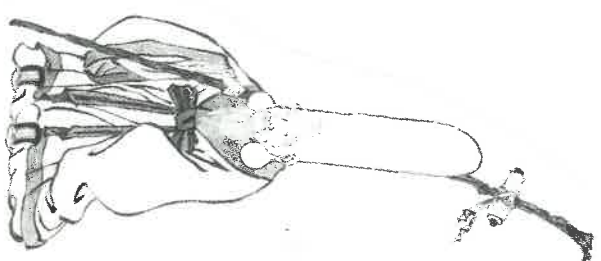
おん そろそばてい いえい そわか

福祿寿

中国出身の道教の神。南極老人の
化身ともよばれている。頭が長く、いつも
つるを連れている。(カメを連れていることもある)
人の寿命を記したまき物がつえについている。

戌・亥年 おん まがひ そわか

ご利益: 幸福、俸禄、長寿



寿老神

中国出身の道教の神様。福祿寿と同じく南極老人星の化身と言われる。つえと桃を持ち、シカを連れている。お供のシカは1500年生きていると言われる。



ご利益：不老長寿、知恵をさずける神様

布袋尊

酉年

おん ばざろゆせい そわか

千年く引の昔、中国に実在した、契此^{かいし}という禪^{ぜん}倅^{はい}がモデル。本当の姿は鬚^{ひげ}動^{うご}菩薩^{ぼさつ}とされる。大きな袋(願^{ねん}陀^だ袋)を持ち、耳たぶ^{みみぶ}が大きい福耳^{ふみみ}で、大きなおなか。中国風のウチわ^{うちわ}を持っている。

卯年

おん まいたれい

そわか



ご利益：福德、家庭円満

宝船

七福神は宝船に乗っている。日本では昔から海^{うみ}の^{うみ}あなたから幸福^{しあふ}がもたらされると信じられていたから。



お正月、宝船に乗った七福神の絵をまぐらの下^{した}にしてねると、よい初^{はつ}ゆめが見^みられる。昔^{むかし}の人^{ひと}はわるいゆめを見たら、糸^{いと}会^{かい}を川^{がわ}に流^{なが}した。

七福神の糸会は都七福神まいりのペンフレットより

2. 七福神の神様はなぜ神社にもお寺にもいるの？

七福神は神様だけど、お寺でもよく見るのはなぜ？

①神社とお寺のちがいは？

宗教

神社

神道

(日本独自の宗教)。日本人は古昔から海川、山などの自然すべてに神様がいると考え、神社を作りおまつりしてきた。『古事記』に出てくる神様は神道の神様。

お寺

仏教

今から2500年前にインドでジャカ族の王子ブータ・シッタラと言った人が仏教を作った。

まつられているもの

神社

神様

本殿におかれているのは「ご神体」。

ご神体とは神様がよりつくもののことをいい、鏡や剣、勾玉など。

お寺

仏像。おしゃく様、観音様、不動明王など。

仏像はお経に登場する仏さまを形にしたもの。

仏様

ご神体

完全な悟りをえた
仏の中の仏

悟りを求めて
じみ深い仏。

如来

如来の使者。
表情

ぼさつ

明王

天

おしゃく様がたんに生ずる前から信じていた古代インドの神々が、仏教の守り神となった。

働いている人は？

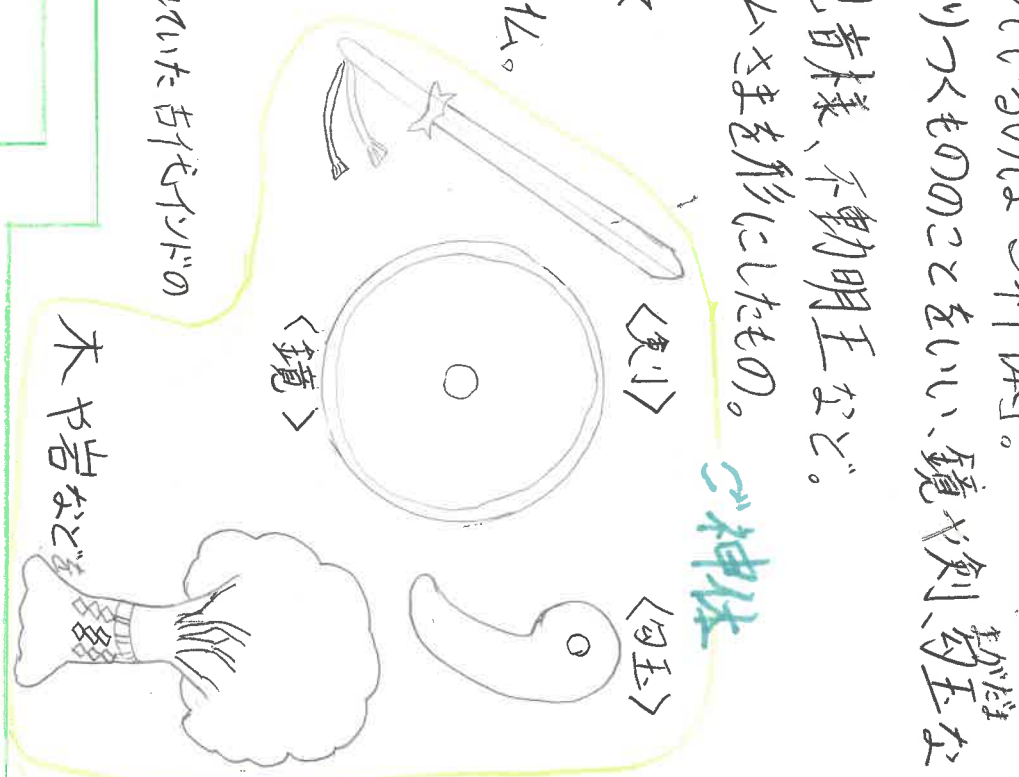
神社

神主さん

巫女さん

お寺

お坊さん



数

神社

約8万1000。地いぎごにその土地を守る神様を

まつている神社がたいのたくさんある。
お寺 約7万7000。お寺は江戸時代に地いぎごにその土地に
住お人々のこせきを管理し、現在の役所のように
な役割をはたしていたから、たくさんある。

神社だけにあるもの、お寺だけにあるもの

神社

鳥居(神社の入り口、神様がいらっしゃる人間世界を分ける)

本殿(ご神体がまつられているところ)

しめなわ(神様をまつる場所と他の場所を区別する)

すず

お宮まいり、七五三

こま犬

夏祭り、秋祭り、おみこし

お寺

山門(仏教の世界と一般の世界の境界)

本堂(金堂)

お墓まいり
除夜の鐘

鐘楼(時間を知らせる大きな鐘をつるす)

仏塔(五重塔など)

お参りの仕方

神社

「おさいせん」「鈴」「二礼二拍手一礼」。2回手をたたいて
ならすのを「かしわき」といって、神様の前でよろこびを表現
する方法。

お寺

仏様の前で手を合わせて静かにお祈りする。「合掌する」とい

② 神社とお寺の両方にあるもの

- ・大きな木が生えていて、古そうなたて物がたっている。緑が多く、ふいんきがちがう。
- ・神様も仏様も人々を守り、その願をかなえてくれると信じられている。
- ・初もうで、合格祈願に行く。絵馬が書ける。お守りが買える。
- おみくじができる。ご朱印がもらえる。手水舎(てみずしゃ、ちうずや)がある。

③ 「神仏習合」というキーワード

「神仏習合」とは、神様と仏様の両方を区別なく信じることで、神道と仏教がおたがいの信仰や儀式を取り入れあうこと。

飛鳥時代に日本に仏教が入ってきた時、聖徳太子が仏教の教えを広め、日本中にお寺がたくさん建てられた。日本はもとも神道の国だったけど、仏教が入ってきたとき受け入れて、その後には「神仏習合」という考えが生まれた。

多くのお寺で、仏様を守るために、神様をいっしょにおまつりしたり、神社でも仏様(仏像)がまつられている。

神社とお寺は、もともとはぜんぜんちがう場所だったけど、「神仏習合」で同じ場所でも神様も仏様もいっしょにまつられていることが多い。

それなので七福神はお寺にも神社にもいる。

3.「七福神めぐり」とは

・七福神めぐりは、七福神のまつられている寺社を7カ所おま
いりするこゝで、それぞれの神様のご利益を授かれ、全部
おまいりする、大きな開運をひきよせると言われる。

・現在、日本全国に100コース以上ある。(わたしが数えたのが145コース)

・ほとんどのコースがお正月にだけ、特別台紙やご朱印がもらえ
るが、通年で七福神めぐりのご朱印をもらえるコースもある。

・こちらは神社とお寺がまざっているが
神社だけしかない、寺だけしかないコースもある。

・7つの神社だけでなく、8や9の所もある。

・一番古くて600年前くらいからあるが、
各地の観光などと結びつけてできた
新しいコースも多い。

全国の七福神めぐりのコース

『七福神の謎』『七福神めぐり(東京周辺)』『七福神めぐり
(京阪神)』にのっている七福神めぐりを中心に数えた。
(でも、わたしが行った「さぬき七福神」はでていないので、
この他にも全国にたくさんコースがあると思う)

七福神めぐりがない県も、一つのお寺の中に七福神の像が
そろっている「一カ所めぐり」のできるところがある。



各県の福神のコース

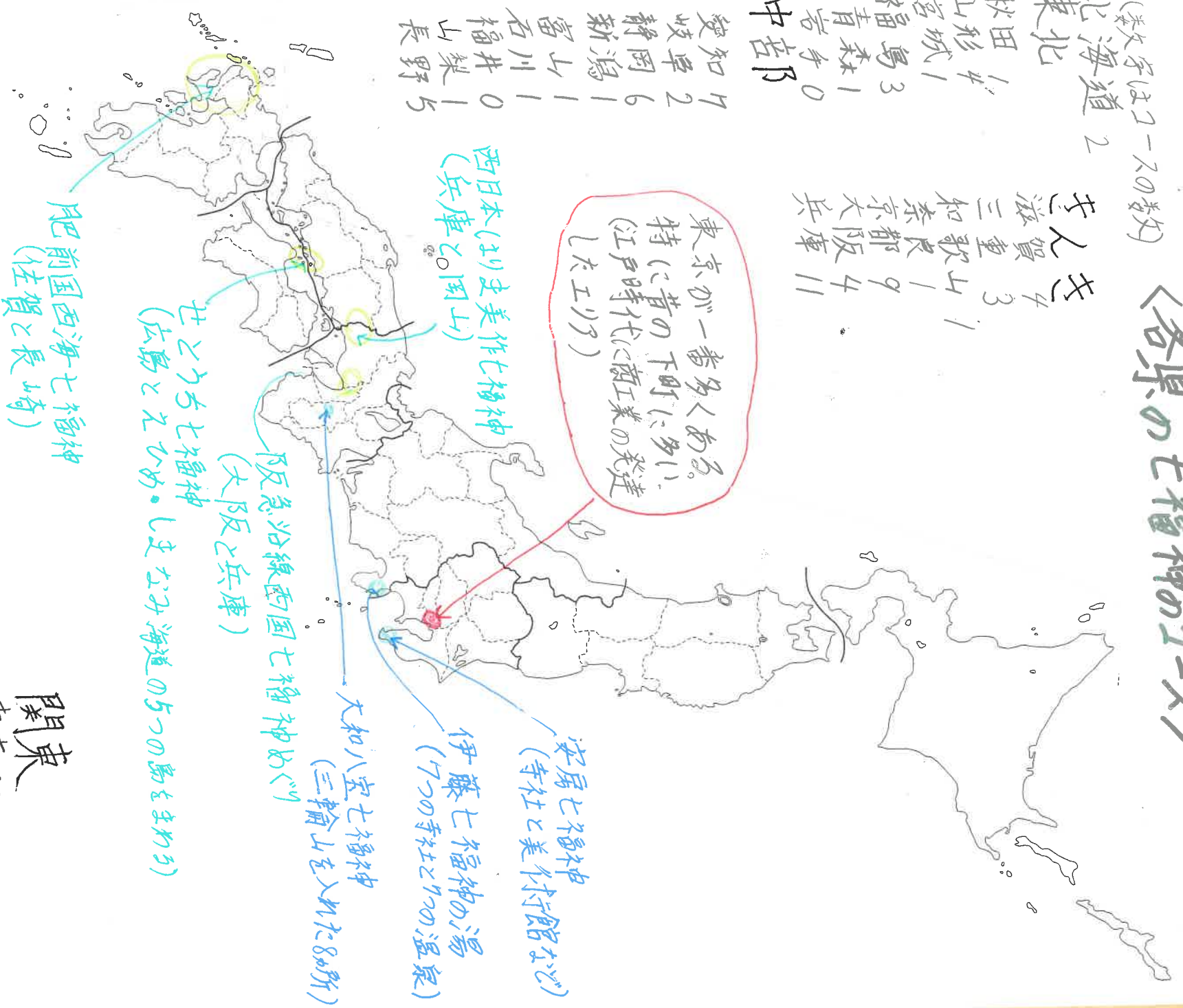
(数字はコースの数)

北海道 2
 東北
 秋田 1
 山形 4
 宮城 1
 福島 3
 青森 1
 岩手 0
 中 0

关東
 埼玉 4
 千葉 3
 三重 1
 滋賀 3
 京都 9
 大阪 4
 兵庫 11

近畿
 奈良 7
 和歌山 2
 三重 6
 滋賀 1
 京都 1
 大阪 1
 兵庫 0
 徳島 1
 高松 5

東京が一番多くある。
 特(に昔の下町に多い)。
 (江戸時代に商工業の発達したエリア)



九州
 大分 2
 福岡 2
 熊本 0
 鹿儿岛 0
 沖縄 0

四国
 高知 3
 徳島 3
 香川 2
 愛媛 1

中国
 岡山 1
 山口 2
 徳島 1
 高松 0
 愛媛 1

関東
 東京 22
 神奈川 9
 千葉 9
 埼玉 7
 茨城 2
 栃木 3
 群馬 2

★2つの県にまたがっているコース

4. 「七福神めぐり」のれきし

七福神めぐりの始まり

「最古の七福神めぐりといわれる京都の『都七福神めぐり』の代表となっている六波羅蜜寺で聞きました。」

七福神信仰は、だいたい600年前に京都の商人を中心として始まった。町の人たちが自分たちで7人の神様をえらびおまじり 시작했다。(中国の「仙人」をまねて考えたという説もある。) 最初はこ朱印などもなかったが、長い間にお寺のまわり方やこ朱印など形が作られていった。

江戸時代になり、七福神信仰は江戸でも広まる。

徳川家康が上野寛永寺のお坊さんにして七福神信仰をすすめられ、それを庶民に広めたのが始まりという説もある。

江戸時代終わりの(1804~1830年)

江戸で「七福神めぐり」が流行した。

このころには観光もさかんとなり、七福神めぐりのコースが各地にできた。(谷中七福神、隅田川七福神、亀戸七福神、上七福神など)

「お正月に七福神めぐりをする」という風習も、江戸時代から始まった。

昭和50年代に日本中で「七福神めぐり」ブームがおきる。

戦争で七福神めぐりも中断したが、戦後、自治体や地いきのお寺、神社が中心となり、町おこしも目的に新しいコースが作られた。

今ある半数ぐらいの七福神めぐりは、1979年~1982(昭和54年~57年)に作られたもの。(日本橋七福神、下谷七福神、池上七福神、八王子七福神、伊東温泉七福神など)

神道

仏教

神仏習合

(時代)

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土・桃山

江戸

明治

大正

昭和

平成

令和

1400年代
京都で福神信仰がおきる

江戸でも福神信仰がひろまる

江戸で「七福神めぐり」が盛んになる

全国で七福神めぐりゲームがおきる
「一ス」もたくさんできる

コロナで中断された年もあったが、
現在も七福神めぐりは人気がある。

(神仏分離)

5.あたしの行った「七福神めぐり」

淡路島七福神めぐり (7/15)

- ・50年くらい前に八淨寺のお坊さんが発安しスタートした。
- ・お正月以外でも1年を通して、七福神めぐりのご朱印や記念品がもらえる。
- ・車で5時間くらいで1か所お寺を回ることが出来る。
- ・七福神めぐりの場所がすべてお寺で、それぞれの仏様をお守りする神様として七福神がまつられている。(神社がふくまれていない)
- ・クワのお寺ではたいこをたたいておかんでくれて、お寺や七福神のお話を聞ける。
- ・お坊さんや尼僧さん(女性の仏僧)がおかんでくれるとき、三つうのお寺とお参りの仕方が違う。2拍手(かしめ)をし、般若心経とび真言となえて最後に2拍手する。

- ・ 淡路島七福神は全部真言宗のお寺なので、本魚は使わない。たいこをたいて、はなやかにお参りをあげる。
- ・ どこのお寺からスタートしてもよい。最初のお寺で「淡路島七福ハッピーけん」という系紙をもらい、1つのお寺で「おのれ金」を納めるとスタンプをもらえる。全部集めると、最後のお寺で吉兆福笹がもらえる。

各お寺の記念品

[illegible]

八^{はち}淨^{じやう}寺^じ (大黒天)

2m以上の木造の大黒天がまつられている。
七福神の手水舎、七福神の森があり、石でできたかわいい七福神がいる。
大黒天のおつかいのナスミがかかっている「身代り石」が有名。



七福神の手水舎

〈ハジ寺で聞いた話〉

- ・淡路島「国生みの島」と呼ばれ、日本はこの島から始まり、神々から生まれたとされている。島内には2000の神社と200のお寺がある。

・お正月(1月)には1万人〜1万5千人、その他の月を合わせると1万人くらいの人か七福神めぐりをしている。

宝^{たから}生^う寺^{でら} (寿老人)

本堂には大きなシカの頭と寿老人の像がまつられている。
長寿木喬があり、長寿橋をわたると寿命が10年のびると言われている。
筆をくわえているシカの像がある。



ちぜんじ 智禅寺 (弁財天)

本堂内陣に入ると、弁財天を目前で見ることが出来る。
この弁財天は「臂宇賀弁財天」。8本のウデがある。
びわはもてない。おじいさんの顔をしたへびを豆頭に
のせている。



ちりんじ 長林寺 (福祿寿)

本堂は1300年前に建てられたもの。
1000年以上前に作られた仏像もたくさんあって、福祿寿の像も
全部ある。中は暗くて、真ん中で火をたくため、天井がヤカベか
黒くなっている。



かくしんじ 覚住寺 (毘沙門天)

あまのじくをい、みつけた毘沙門天の像がある。
500年代に聖徳太子によって建てられたと言われている古いお寺。
(今もまたかえられてきれいになっている。)
ざいじんのかみからは、おつかいの
ムカラ。



万福寺 (恵美酒太神)

本堂の大きな恵美酒象をなべて「えびす顔」
（笑い顔）をよねして、福をたらう。

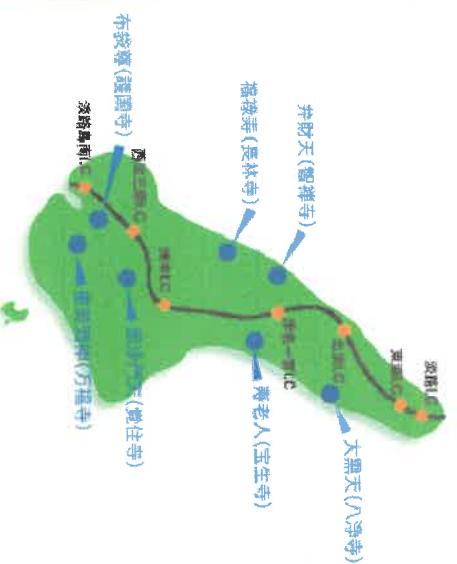


恵美酒様のルーツは2つの説があるが、こゝておまつりされているのは、
ヒルコミコートのルーツを持つえびす様。
庭には釣りをしているえびす像があった。



護国寺(布袋尊)

本堂には3体のほいそいそ像や宝船の絵など、たくさん置かれている。
淡路島最古の庭園がある、こゝで最後の吉兆福笹をたらう。



← 淡路島そのものが七福神が
乗ってくる宝船と見られて
いる。

一語録

わたしたち家族の他にも、七福神
めぐりをしている人が、何組もいた。
それぞれのお寺にそのお寺がたんとウ
している七福神の「象」が置かれていた。
（布袋尊のお寺には布袋尊像がたくさん）

浅草名所七福神めぐり (6/15、7/29)

- ・九社寺をまわるコースになっている。9は一の位の中で一番大きくて、色々良い意味を持つ数なので、9か所としている。
- ・江戸時代からある古い七福神めぐりコース。戦後に一時其期中断したが、1977年に復活した。
- ・一年を通じて七福神のご朱印や福絵馬が集められる。
- ・お寺をまわっているとどこからでもカッリーが見える。
- ・外国人にも人気の観光スポット。

矢先稲荷神社

かつは橋通りをいいたところにある。



矢先稲荷神社 (asakusaz.jp)
浅草名所七福神会HPより



鷺神社 (侍老人)

西の市で知られ、江戸時代を代表する神社。



鷺神社 (asakusaz.jp)
浅草名所七福神会HPより

吉原神社 (弁財天)

神社の近くに小さい池と小さい滝が作られた。ここに昔大きな弁天池が小さくなっている。



吉原神社 (asakusaz.jp)
浅草名所七福神会HPより

石浜神社 (侍老人)

すみだ川そばにあり、じやりのきれいな神社。



石浜神社 (asakusaz.jp)
浅草名所七福神会HPより



橋場不動尊(布袋尊)

本尊の不動明王は秘仏。布袋尊は江戸時代のころから伝わるもので、かたに袋がなく、おなかを袋の代わりの形をしているらしいもの。



不動院 (asakusa.jp)
浅草名所七福神会HPより

浅草寺(大黒天)

外国人かんこぎやくにも有名な雷門がある。

大黒天は本堂のとなりのようごう堂にまつられている。

江戸時代からある像で真黒で米びつ大黒によばれている。



浅草寺 (asakusa.jp)
浅草名所七福神会HPより

浅草神社(恵比須)

浅草寺と同じ浅草公園内にある。お正月でも恵比須様はご開帳されない。写真がはってある。→



【恵比須神像】

浅草神社

待乳山聖天(毘沙門天)

毘沙門天は、彫の像で、本尊

大聖歓喜天の守り神として古く

からまつられている。



待乳山聖天 (asakusa.jp)
浅草名所七福神会HPより

今戸神社(福祿寿)

大きなまねねこの前に福祿寿の

像があり、目の前で見ることができる。



言記録

浅草は9ヵ所あって、2日に分けてまれた。
1回目も6月に行って、あじさい市やお祭りを
して、人も多くいた。2回目は7月29日に
朝からのこりの寺社をまわった。朝でも外国人
観光客が多かった。絵馬を1つずつ集める
のも楽しかった。7月29日は「福神漬の日」で、
参拝した人に福漬がかつプレゼントされていた。



港七福神めぐり (7/30)

- ・七福神の社寺と宝船の神社を合わせて8ヵ所の社寺をめぐる。 1月1日~13日までだけご朱印がもらえる。
- ・主催は各社寺。(港区観光協会ではない)
- ・昭和8年(1933年)麻布箱荷七福神詣を始めとする。戦争で中断するが、昭和41年(1966年)に「港区七福神めぐり」として再開。

宝珠院(弁財天)

東京ターのすぐ近くにある。徳川家のお寺増上寺にあった池と弁天様を一般の人もおまいでさるように外に出して弁天堂をたてたのがこのお寺の始まり。今は弁天池は小さくなっている。江戸時代に他の寺からうつされたご本尊、あみだ如来、薬師如来のほかに、大さねんま大王がまつられている。



十番稻荷神社 (宝船)

地下鉄の駅の出口から10分(駅のすぐ横)
宝船の石像は鳥居の木横階段を上かる前にある。



大法寺 (大黒天)

「大黒板」の中心にあるお寺。
地元では「一本松の大黒天」として親しまれている。



久国神社 (布袋尊)

六本木一丁目駅からすぐ。
高いビルの間にある緑の多い神社。



言記録

東京タワーや六本木ヒルズが見える所にある。期間中じゃなかったのびたなどがなくて分
かりにくかった。

- 港七福神めぐり
- 宝珠院 (弁財天)
 - 熊野神社 (恵比寿)
 - 十番稻荷神社 (宝船)
 - 大法寺 (大黒天)
 - 麻布氷川神社 (毘沙門天)
 - 櫻田神社 (壽老神)
 - 天祖神社 (福祿寿)
 - 久国神社 (布袋尊)

鎌倉・江の島七福神めぐり (8/3)

・1982年(昭和57年)から始まり、一年を通じておまいりできる。(色紙、朱印もられる。)

・弁財天 が2カ所になり8つの寺社をまわるコース。

・主催は鎌倉・江の島七福神申会(江ノ電沿線新聞社内)
鎌倉市と藤沢市の観光協会が後援している。

・キャッチコピーは「暑くて熱い。夏の七福神」



江島神社(弁財天)

江島弁財橋をわたって江島に入ると赤い大きな鳥居があり、島全体が神社になっている。3つの宮に3姉妹の女神様をおまつりして、合わせて江島神社となっている。

それとは別に奉安殿に八臂弁財天と妙音弁財天がまつられている。八臂弁財天は勝運の神様で、鎌倉時代に源頼朝がばくちを聞くときに作られたもの。妙音弁財天は音楽、芸能の神様で、鎌倉時代からここにまつられていた。



江島神社HPより

・鎌倉・江の島七福神会で聞いたお話を

Q、七福神めぐりをなぜ始めたんですか？

A、東京では七福神めぐりが有名でしたが、鎌倉は観光地なのに七福神めぐりがなかったので作りました。

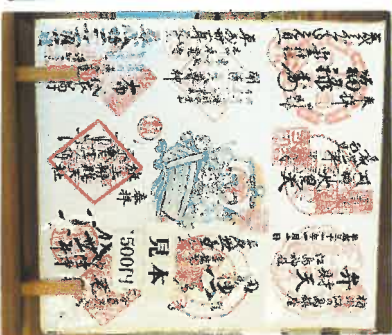
Q、特徴は何ですか？

A、夏にしていること、社寺を回りながら海や富士山が見えること。

一言記録

通年しているけれど、弁天様の神社がとて大きくて他の寺社には行けなかった。富士山も見うれしかったのでまたいつか全部をまわりたい。

水にカタルと絵に
字がカカンでくる。



鎌倉・江の島七福神
江島神社 (江島弁財天)
本覚寺 (えびす様)
長谷寺 (大黒天)
鶴岡八幡宮 (旗上弁財天)
宝成寺 (毘沙門天)
淨智寺 (布袋尊)
御霊神社 (福祿寿)
妙隆寺 (寿老人)

谷中七福神めぐり (8/1)

- 江戸で最も古い歴史を持つ七福神のコース。
- お正月期間のみ、七福神めぐりの色紙などがもらえる。
- 上野駅～田端駅を中心に、谷中銀座商店街など下町のふんいきが残るコース。

寛永寺弁天堂

天海大僧正が作った不忍池にある元々は島になっていて船を使っていたが、お参りする人が増えたので、江戸時代には橋がかけられた。ご本尊は八臂弁才天。



谷中七福神
東覚寺 (福祿寿)
青雲時 (恵比寿)
修性院 (布袋尊)
長安寺 (寿老人)
天王寺 (毘沙門天)
護国院 (大黒天)
不忍池辯天堂 (弁才天)

一言記録

弁天堂は上里重力物園のすぐ近くにあって人が多かった。はすの花が満開だった。またお正月に行きたい。

吉祥寺七福神めぐり

(1/26)

- ・おさしの商工会ぎ所が主さいの事業。毎年1月3日~7日の5日間。
- ・18年前から始まり、コロナで2回中止になったが、2025年のお正月が第19回目。
- ・2007年からは、期間中で七福神めぐりのバスも運行している。
- ・もともと一つのお寺と神社だったが、2024年から5つのお寺と神社になった。(井の頭弁財天は住所としては、みたか市なのでおさしの市に集約という
ことになり、もともと弁財天をまつていた料^き築大^きネ社で恵比寿様と
いっしょにまつることにした。)

〈おさし野市商工会ぎ所で聞いたこと〉

Q:「吉祥寺七福神めぐりはどうや、スタートしましたか？」

A:「1つ目は、かん光客に集まってもらい、町の活性化を
するためです。」

2つ目は、吉祥寺は駅名にも「寺」がつくように、お寺が多い地いきなので、
お寺に協力してもらい、何か事業ができないかなと考えました。

Q:「ここにはお寺がたくさんあると言いましたが、なぜこの5つのお寺や神社になっ
たのですか？」

A:「当時、この事業をたち上げた人たちが、この地いさのお寺やネ社をまわって
話をし、「七福神めぐりに協力するのをあげてくれたお寺やネ社にな
りました。」

Q:「毎年どのくらいの人がかんしますか？」

A:「2024年の第18回の際は、5日間で3万3000人のかんがしました。」



むさし野八幡宮 (大國様)

吉祥寺のウシ神様。

けいだいにいさな神社が、大國主命をまつている。

安養寺 (布袋尊)

八幡宮のすぐとにある。

江戸時代に作られた梵鐘があり、
おおみそかの夜にみんな鐘をつく。



大法禅寺 (福祿寿)

本堂の外に大きな福祿寿の像がある。



一言記録

午前中に吉祥寺馬尺近くの3か所を廻った。住たぐいがいて、安養寺、
大法寺にははだれもいなくて、静かだった。商工会議所では、
来年のパンフレットを作成し始めていて、びびくりした。

吉祥寺七福神めぐり

武蔵野八幡宮 (大國様)

安養寺 (布袋尊)

大法禅寺 (福祿寿)

延命寺 (毘沙門天、寿老人)

杵築大社 (恵比寿神、弁天様)



「吉祥ベジ福神」

地域活性のために、
武蔵野商工会議所が
作成したキャラクター

都七福神まいり (京都) (8/12、13)

- ・ 一年間通して七福神めぐりのご朱印がもらえる。
- ・ 1つの神社と6つのお寺をまわるコース。(えびす神社以外はお寺)
- ・ 「日本最古と色々なところ」に書かれている。2023年か七福神めぐりが始められてから600年目だった。
- ・ 色紙はそれぞれオリジナルなものがある。スタートした場所では色紙を買って、おまいりした場所でもご朱印をもらう。

萬福寺(布袋尊)

江戸時代の初めごろに中国のお坊さんがたてたお寺で、中国代様式でたてられた大きなお寺。布袋尊の大きな像の前でおまいりすることができる。

赤山禅院(福祿寿神)

木の中にある静かなお寺。福祿寿殿には福祿寿の像がたくさんおかれている。888年にたてられ、京都の表鬼門を守るお寺として、屋根には鬼門よけのサシが4匹おかれている。



松ヶ崎大黒天(妙円寺) (大黒天)

1616年に日蓮聖人によってたてられたお寺。ここにお寺をたてた時に、京都の表鬼門に位置し大黒天をおまねぎするのによい場所だとし、日蓮聖人が大黒天と一緒におまいりした。うちでのこづちがあつて、ぬがいごとをしながらふる。



東寺(毘沙門天)

空海がたてたお寺。東寺の五重塔は日本一古い木造のたて物。「毘沙門天堂」に毘沙門天がまつられている。



革堂(寿老神)

平安時代からある古いお寺。「寿老神堂」の中にある寿老神は桃山時代に作られたもの。七福神の像もある。



六波羅密寺(弁財天)

951年に空也上人により建てられたが、明治時代に修理とたてかえがされて、今し赤いきれいなお寺になっている。びわを持った金色の福寿弁財天がまつられている。ご朱印を書いてもらうところか、ご本尊と弁財天で分かれている。



えびす神社(えびす神)

1202年にたてられた神社。「日本三大えびす」の一つ。鳥居の上に大きなえびす様の顔がある。えびす様は耳が遠いため「おまいり」に来ましたよと、かたを叩いてお知らせしてからおまいりをする。

本殿の横にたたく板が

あって「やさしくトントン

たたいてください」と書いている。



一言記録

京都の神社はとにかく大きくて物の感じも、古くできてきた。車で2日間かけてまわった。どの神社も七福神のグッズも多くて、ご朱印の種類が多くて、ご本尊の七福神の、特別なご朱印などから選べた。



兄はお寺のご朱印、わたしは神社のご朱印をもらった。



寿老神のお寺 毘沙門天のお寺 弁財天のお寺

七福神

(8/15、21、24)

- ・高松市、東かがわ市、綾川町の7つの神社をまわるコース。
- ・通年でも七福神めぐりができ、ご朱印記念品、福飾りが各神社寺であつめられる。
- ・3つのお寺と4つの神社をまわるコース。

都七福神まいりの
都色紙

田村神社 (布袋尊)

大きな^{りゅう}う神様がまつられている。池のまわりに七福神の像があり、全員が宝船に乗っている百八像もある。

く田村神社で聞いたお話し

Q: どのようなが始まりましたか教えてください。

A: 2000年に神社へのお参りを増やすと、田村神社が他のお寺や神社に声がけをして始まりました。コロナ前までは、団体旅行などで七福神めぐりをする人が増えました。



法然寺 (大黒天)

高松藩、松平家のぼだい寺。大きな五重塔がある。大黒天はこの山に法然寺がでる前にお宮があり、元々そこにはまつられていた。他にも神道系の神様が多くまつられている。



国分寺 (弁財天)

四国八十八ヶ所の札所にもなっている。

731年に聖武天皇が仏教で国をおさめ

ようと、各地に国分寺をたてた時、さぬきにたてられたお寺。

本尊は千手観音菩薩。池の中に白大理石でできた主尊の弁財天がまつられている。他にも木像の弁財天、

おむかえ弁財天がいる。



一言記録

一年通して七福神のご朱印や福かざりなどがもらえるが、あまりせんべいしてない感じた。四国では八十八ヶ所の方が有名なのかなと思う。

6.まとめ

①
七福神スタートは600年前の室町時代で、江戸時代から
続いている七福神めぐりも多いけど、コースがたくさんできたのは、
昭和時代になってからだ。

だから、歴史が40年くらいコースも多い。

でも七福神をまわっていたお寺や神社に声をかけて、その地い
活性化、町おこしや観光をよりあげることが目的としてつくられた
七福神めぐりも多い。

「神仏習合」という言葉は、お話を聞いた時、「ここのお寺は
神仏習合なので七福神をします。」などとよく聞く言葉だった。

ご朱印をもらうとき、「お寺のご朱印ですか？神社のご朱印ですか？」
と聞かれたり、同じお寺の中でも、仏様のご朱印と七福神のご朱印が
もうえる場所が分かれていた。

お坊さんが一緒におまいりをしてくれるお寺では、まずお経を読んで
から七福神のご真言をみんなで唱えるという形があったりして、「神仏習合」
を実際に感じるところもたくさんあった。

- 全部をまわることのできたコース
- ・淡路島七福神めぐり
 - ・浅草七福神めぐり
 - ・都七福神まいり



浅草で集めた七福絵馬

感想

わたしは夏休みに七福神めぐりをしました。40カ所くらいの社寺に行きました。お正月期間しかや、ていないコースは、目印の方集を出ていないので何回か道にまよいました。それでも、お寺や神社を見つけて、七福神の神様を見つけると、とてもうれしかったです。京都、浅草、浅路島、七福神めぐりは通年で行っていたのでグッズなどが売、ていたり、ご朱印がたま、ていくのも楽しかったです。

浅草や京都では、外国人もたくさん七福神めぐりをしていました。七福神めぐりは7カ所なので、カズはたら全部まわれるそうだし、目の前で書いてもらうご朱印は、かこよく思い出にのこるし、七福神のグッズは、小さめでとても日本、(いい)から、外国人にも人気があると思いました。七福神めぐりはこれからもずともじり上がると思います。

日本全国に100コース以上あるので、わたしもこれからたくさんまわ、てみたいと思います。

わたしが好きな七福神の系会本



参考資料

	書名	作者名	出版社	出版年
1	神社・お寺のふしぎ	監修・藤本頼生 東京都仏教連合会	偕成社	2015
2	日本の神さま絵図鑑1 序文	監修・松尾恒一	ミネルヴァ書房	2012
3	日本の神さま絵図鑑2 序文	監修・序文 松尾恒一	ミネルヴァ書房	2012
4	教えて、釈先生！子どものための仏教入門	著：釈徹宗 谷口雅美	講談社	2020
5	キャラ絵で学ぶ！仏教図鑑	監修・山折哲雄 絵・いとうみつる 文・小松事務所	すばる舎	2019
6	キャラ絵で学ぶ！神道図鑑	監修・山折哲雄 絵・いとうみつる 文・小松事務所	すばる舎	2020
7	神社とお寺がわかる事典	監修・井上智勝	PHP研究所	2009
8	七福神の謎77	武光誠	祥伝社	2013
9	えびすさんと6人のなかまたち	作・中川ひろたか 絵・井上洋介	佼成出版社	2004
10	七福神の大阪ツアー	作・くまざわあかね 絵・おおきひろえ	ひさかたチャイルド	2017
11	七ふくじんとおしょうがつ	作・山末やすえ 絵・伊藤美貴	教育劇画	2002
12	七ふくじんとなつまつり	作・山末やすえ 絵・伊藤美貴	教育劇画	2002

浅草名所七福神 (asakusa7.jp)

鎌倉江の島七福神 (kamakura-enoshima-shichifukujin.jp)

淡路島七福神めぐり | 淡路島観光ガイド - 淡路島の観光や旅行、宿泊施設、温泉、グルメ、イベント情報がいっぱい！ (awajishima-kanko.jp)

日本最古 都七福神まいり (miyako7.jp)

作品の裏面に貼付してください。

！個人提出の場合は記載不要です

「第13回 高松市 図書館を使った 調べる学習コンクール」作品応募カード		学校用受付番号 (学校記入欄)		作品番号(事務局記入欄)	
		/		中国・香港 5	
部門	(□に✓を入れてください。)				
	☐ 小学校1・2年生の部 ☒ 小学校3・4年生の部 ☐ 小学校5・6年の部 ☐ 中学生の部				
タイトル	七福神ってどんな神様？				
ふりがな					
氏名	いらい あいり 白井 愛梨				
学校	附属高松小学校 小学校 / 中学校 [3] 年生				

※作成者が複数の場合は全員の名前を記載してください。